

「ウェブカメラから手を認識することで遊べる，もぐら叩き」

瀧澤佳樹

1. 処理内容

ウェブカメラで映像を取得し，肌色を抽出する．マウスで手の画像をクリックすることでゲームがスタートし，もぐらが飛び出す．飛び出したもぐらと肌色の領域が接触すると，もぐらを叩いたとする．叩いた時に，叩かれたもぐらは，泣いているもぐらの画像へ変更される．また，もぐらが叩かれた際には、ヒットしたとカウントされ、スコアを表示する．

2. 動作・実行結果

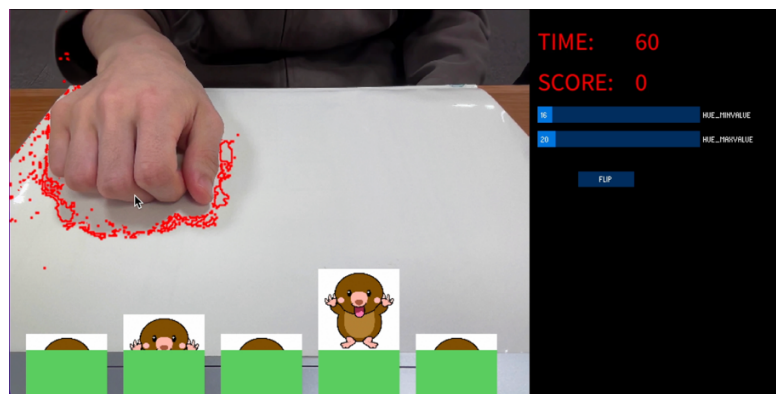


図1. ゲームスタート前

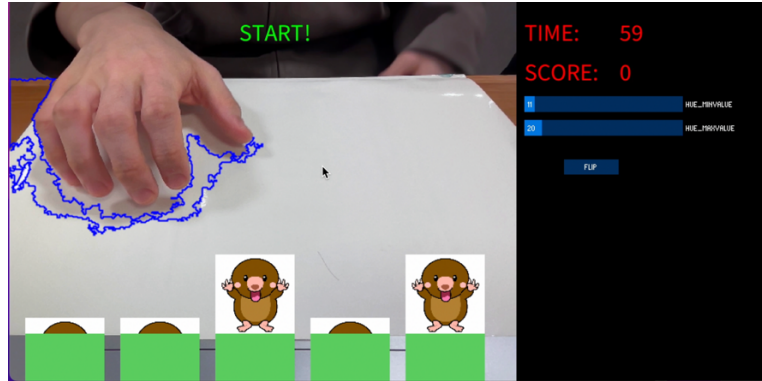


図 2. ゲームスタート時

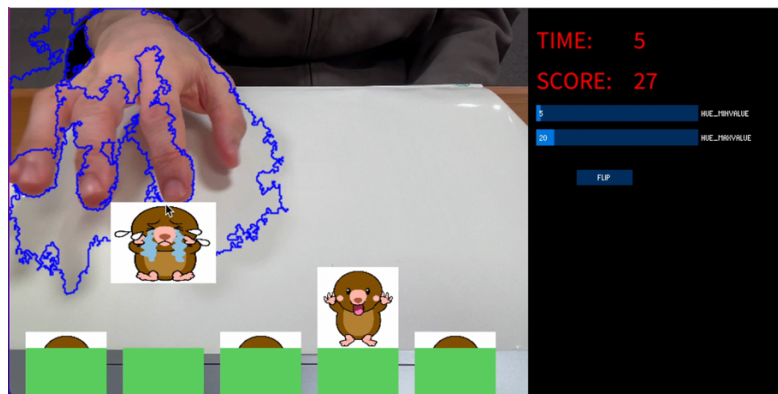


図 3. ヒットした際

3. 工夫点

HSV で肌色を抽出することでもぐら叩きを実現した.

4. 今後の課題

HSV で肌色を抽出する領域が周囲の色と混合し, 誤って他のもぐらにヒットしてカウントしてしまう時があるので, 改善が必要.